

第25回定期景況調査

(平成30年4～6月期)

平成30年6月

名古屋商工会議所

I. 会員企業の景況（今期：平成30年4～6月、来期：平成30年7～9月）

業況DI

○全産業の業況DIは、前期(30年1～3月)の3.2から今期(30年4～6月)0.3とプラス幅を縮小した。
 売上DIが前期2.5から今期▲1.3とマイナスに転じたほか、仕入単価DIが前期30.7から今期36.1とプラス幅を拡大したことから、業況が好転すると答えた企業が減ったと思われる。

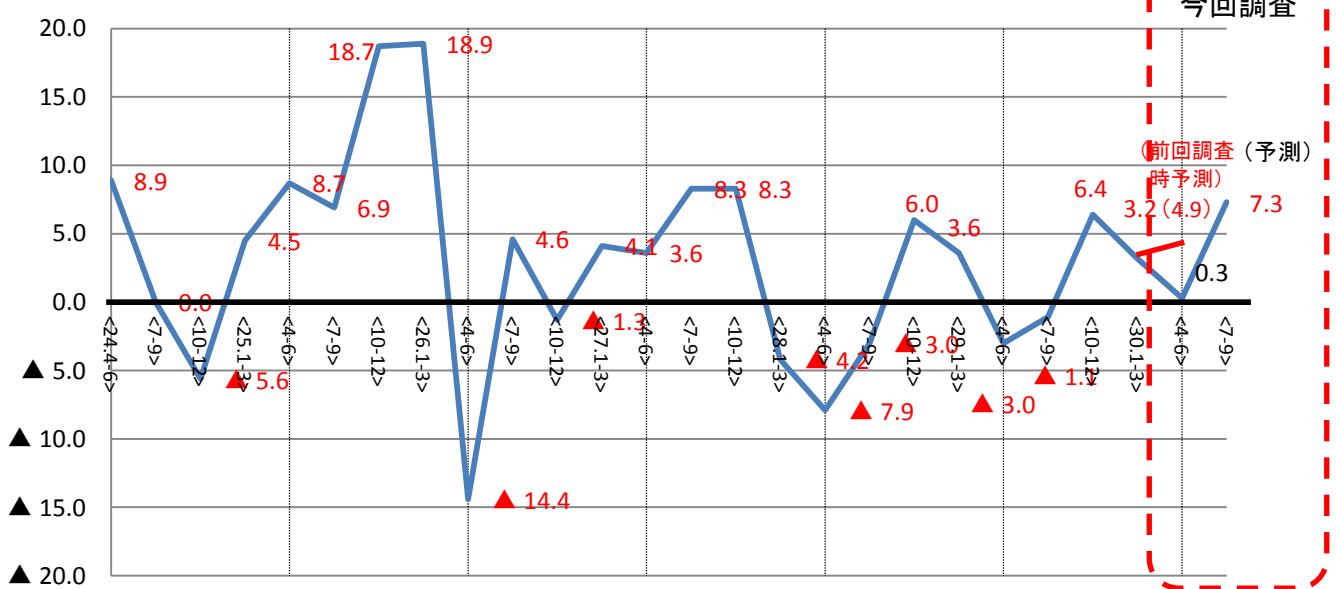
○業種別では、製造業は需要増の一服感等により前期2.2から今期▲4.6とマイナスに転じた。建設業は前期5.3から今期▲2.2と若干のマイナスとなった。卸売業は前期1.5から今期▲11.8、小売業は前期3.8から今期▲7.7と、共に売上減少が響きマイナスに転じた。サービス業は物流等で価格転嫁の動きもあり前期4.8から今期12.1とプラス幅を拡大した。

○先行きは、今期0.3から来期7.3とプラス幅を拡大する見通し。
 海外情勢の先行き不透明感に加え、人手不足の継続や仕入単価の高止まり等の懸念はあるものの、売上回復の期待からマインドが好転したと考えられる。製造業と建設業、卸売業はプラスに転じ、小売業は個人消費の伸び悩み等はあるもののマイナス幅を縮小し、プラス圏で横ばいのサービス業を含めた全業種でもプラス幅を拡大と、先行き業況は引き続きプラス圏の見通し。

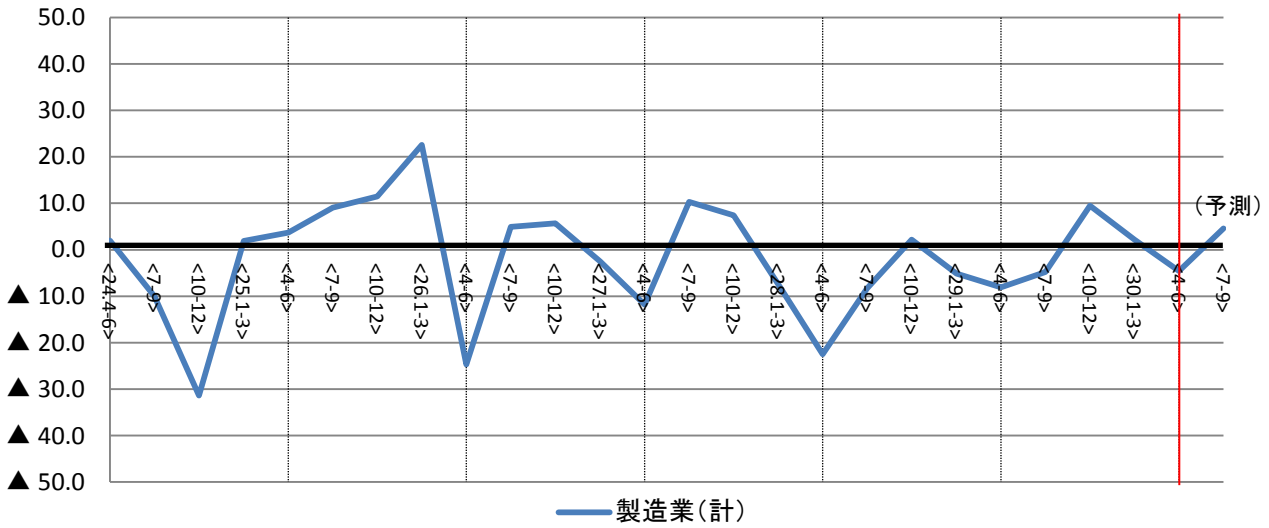
《業況DIの推移》 (「好転」-「悪化」・%ポイント)

| | 29.4-6 | 7-9 | 10-12 | 30.1-3 | 4-6 | 7-9 |
|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 全産業 | ▲ 3.0 | ▲ 1.1 | 6.4 | 3.2 | 0.3 | 7.3 |
| 製造業 | ▲ 8.1 | ▲ 4.8 | 9.5 | 2.2 | ▲ 4.6 | 4.6 |
| 非製造業 | ▲ 0.9 | 0.6 | 4.9 | 3.7 | 2.3 | 8.3 |
| 建設業 | 6.5 | ▲ 6.4 | 5.2 | 5.3 | ▲ 2.2 | 6.8 |
| 卸売業 | ▲ 12.3 | 3.7 | 2.9 | 1.5 | ▲ 11.8 | 10.4 |
| 小売業 | ▲ 17.8 | 7.4 | 3.4 | 3.8 | ▲ 7.7 | ▲ 3.9 |
| サービス業 | 6.1 | 2.2 | 7.3 | 4.8 | 12.1 | 12.1 |

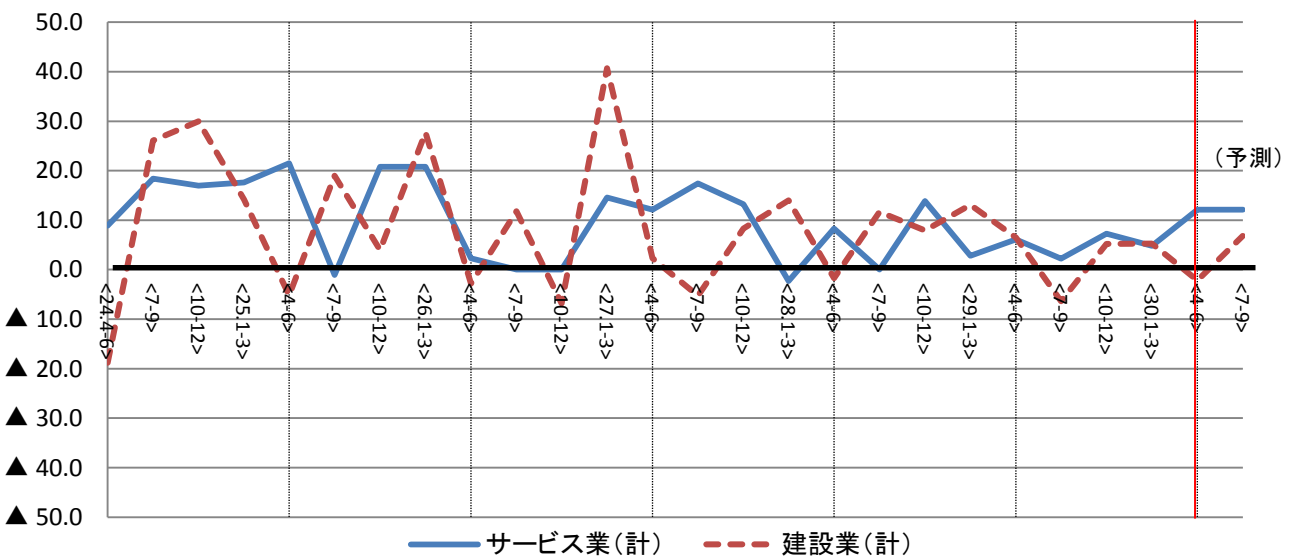
《全産業業況DIの推移》



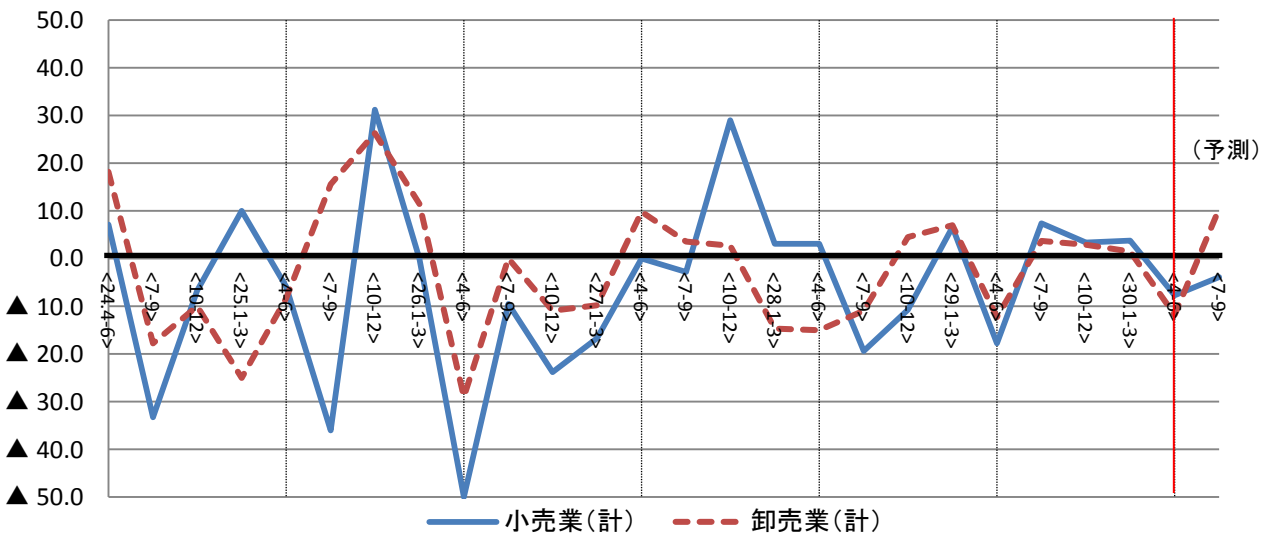
《製造業 業況DIの推移》



《非製造業①(建設業・サービス業) 業況DIの推移》



《非製造業②(卸売業・小売業) 業況DIの推移》



売上DI

売上DIは前期2.5→今期▲1.3→来期7.7と、今期マイナスに転じ、来期は再びプラスに転じる見通し。

《売上DIの推移》

(「増加」-「減少」・%ポイント)

| | 29.4-6 | 7-9 | 10-12 | 30.1-3 | 4-6 | 7-9 |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|------|
| 全産業 | ▲ 6.1 | 3.5 | 11.8 | 2.5 | ▲ 1.3 | 7.7 |
| 製造業 | ▲ 4.5 | 4.0 | 11.3 | 3.7 | ▲ 8.7 | 6.3 |
| 非製造業 | ▲ 6.7 | 3.3 | 12.0 | 2.0 | 1.6 | 8.4 |
| 建設業 | ▲ 6.6 | ▲ 13.0 | 10.7 | 3.6 | ▲ 9.3 | 0.0 |
| 卸売業 | ▲ 23.3 | 9.1 | 8.9 | ▲ 12.3 | ▲ 8.5 | 10.4 |
| 小売業 | ▲ 25.0 | ▲ 3.7 | 10.7 | 7.7 | ▲ 11.5 | 3.8 |
| サービス業 | 10.8 | 9.5 | 14.7 | 3.4 | 9.6 | 14.5 |

仕入単価DI

仕入単価DIは前期30.7→今期36.1→来期31.4と、今期はプラス幅を拡大し、来期はプラス幅を縮小する見通し。

《仕入単価DIの推移》

(「上昇」-「下落」・%ポイント)

| | 29.4-6 | 7-9 | 10-12 | 30.1-3 | 4-6 | 7-9 |
|-------|--------|------|-------|--------|------|------|
| 全産業 | 28.8 | 24.8 | 33.2 | 30.7 | 36.1 | 31.4 |
| 製造業 | 36.6 | 32.4 | 38.6 | 37.2 | 50.4 | 35.9 |
| 非製造業 | 25.6 | 21.2 | 30.7 | 28.4 | 30.0 | 29.5 |
| 建設業 | 23.7 | 13.4 | 35.7 | 28.0 | 38.6 | 31.9 |
| 卸売業 | 29.8 | 21.8 | 45.6 | 40.7 | 44.9 | 47.4 |
| 小売業 | 17.8 | 25.9 | 50.0 | 38.5 | 34.7 | 26.9 |
| サービス業 | 27.4 | 23.1 | 25.0 | 21.1 | 21.2 | 22.9 |

採算DI

採算DIは前期▲8.8→今期▲9.2→来期▲3.0と、今期はマイナス幅を拡大し、来期はマイナス幅を縮小する見通し。

《採算DIの推移》

(「好転」-「悪化」・%ポイント)

| | 29.4-6 | 7-9 | 10-12 | 30.1-3 | 4-6 | 7-9 |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 全産業 | ▲ 8.9 | ▲ 8.4 | ▲ 1.4 | ▲ 8.8 | ▲ 9.2 | ▲ 3.0 |
| 製造業 | ▲ 11.3 | ▲ 12.3 | ▲ 7.8 | ▲ 7.7 | ▲ 20.5 | ▲ 7.1 |
| 非製造業 | ▲ 7.9 | ▲ 6.5 | 1.7 | ▲ 9.2 | ▲ 4.5 | ▲ 1.3 |
| 建設業 | ▲ 10.2 | ▲ 8.5 | ▲ 3.6 | ▲ 7.0 | 0.0 | ▲ 20.9 |
| 卸売業 | ▲ 14.1 | ▲ 12.7 | ▲ 7.3 | ▲ 20.0 | ▲ 13.8 | 1.8 |
| 小売業 | ▲ 21.4 | ▲ 3.7 | 7.1 | ▲ 7.7 | ▲ 3.8 | ▲ 3.9 |
| サービス業 | ▲ 3.8 | 0.0 | 5.6 | ▲ 7.1 | ▲ 2.5 | 4.1 |

従業員DI

従業員DIは前期27.8→今期26.8→来期27.1と、今期はプラス幅を縮小し、来期はプラス幅を拡大する見通し。

《従業員DIの推移》

(「不足」-「過剰」・%ポイント)

| | 29.4-6 | 7-9 | 10-12 | 30.1-3 | 4-6 | 7-9 |
|-------|--------|------|-------|--------|------|------|
| 全産業 | 20.6 | 20.6 | 24.5 | 27.8 | 26.8 | 27.1 |
| 製造業 | 19.0 | 19.2 | 23.7 | 21.8 | 23.6 | 22.1 |
| 非製造業 | 21.3 | 21.1 | 24.8 | 30.2 | 28.1 | 29.1 |
| 建設業 | 28.3 | 31.9 | 43.9 | 44.6 | 45.4 | 48.9 |
| 卸売業 | 0.0 | 7.4 | 10.3 | 21.9 | 10.2 | 10.4 |
| 小売業 | 14.8 | 19.3 | 28.6 | 26.9 | 15.4 | 23.1 |
| サービス業 | 28.3 | 26.3 | 25.7 | 35.4 | 36.4 | 36.4 |

資金繰りDI

資金繰りDIは前期▲2.7→今期0.3→来期▲1.9と、今期プラスに転じ、来期は再びマイナスに転じる見通し。

《資金繰りDIの推移》

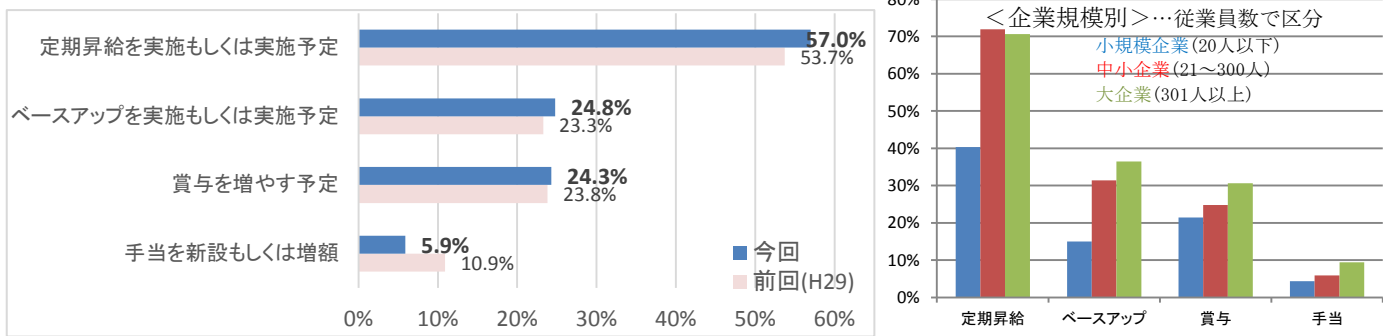
(「好転」-「悪化」・%ポイント)

| | 29.4-6 | 7-9 | 10-12 | 30.1-3 | 4-6 | 7-9 |
|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 全産業 | ▲ 2.4 | ▲ 1.4 | 0.5 | ▲ 2.7 | 0.3 | ▲ 1.9 |
| 製造業 | ▲ 4.5 | ▲ 2.7 | 3.1 | ▲ 1.5 | ▲ 2.3 | ▲ 10.2 |
| 非製造業 | ▲ 1.5 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | ▲ 3.1 | 1.3 | 1.7 |
| 建設業 | 3.3 | ▲ 8.5 | ▲ 3.5 | 3.5 | ▲ 2.3 | 0.0 |
| 卸売業 | ▲ 1.8 | 7.2 | 1.5 | ▲ 7.7 | ▲ 5.1 | ▲ 5.2 |
| 小売業 | 0.0 | 22.2 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| サービス業 | 0.8 | ▲ 2.9 | ▲ 3.1 | ▲ 4.9 | 8.3 | 6.7 |

II. トピックス調査

1. 賃上げについて

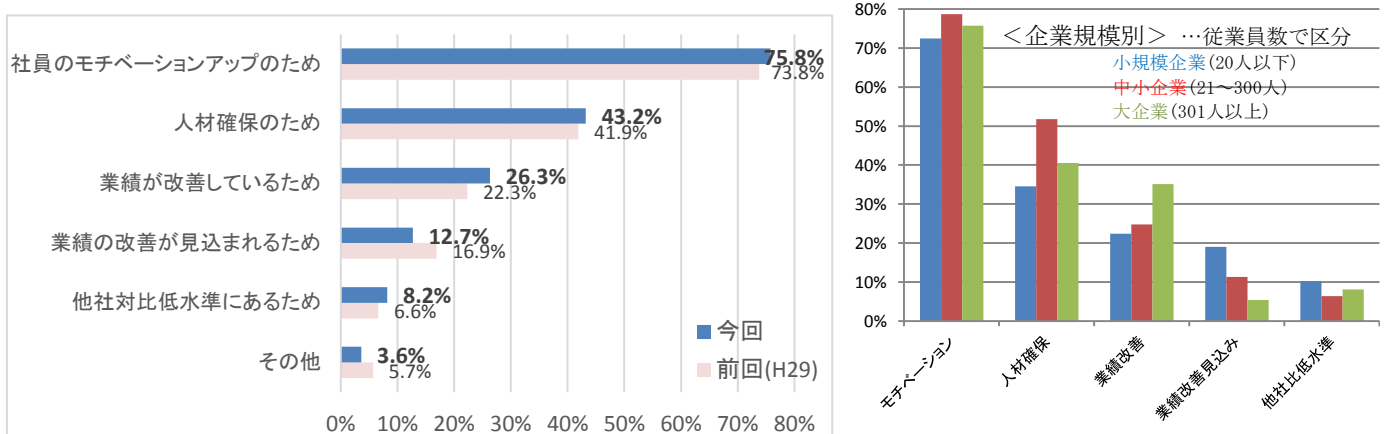
(1) 正社員における平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)の給与について(複数回答)



○平成30年度の給与について聞いたところ、「定期昇給を実施もしくは実施予定」と答えた企業は57.0%と最も多かった。前回調査(H29/4-6月)と同様の傾向であり、定期昇給やベースアップを実施する企業はやや増加している。

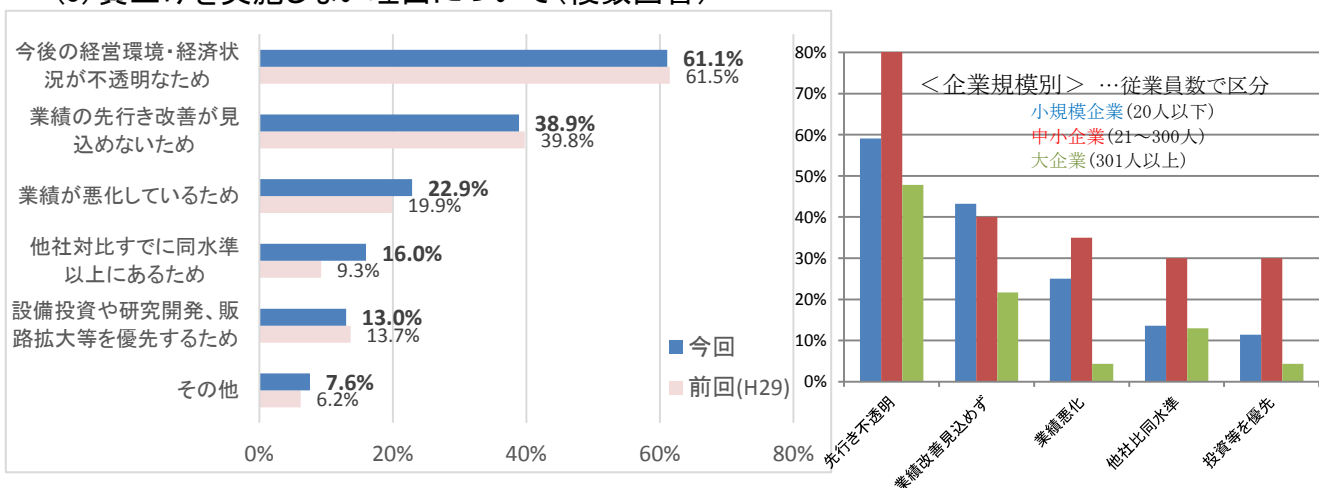
○企業規模別では、「定期昇給を実施もしくは実施予定」は大企業・中小企業の7割に対し、従業員20人以下の小規模企業では4割程度となった。

(2) 賃上げを実施もしくは実施予定の理由について(複数回答)



○賃上げを実施もしくは実施予定の理由については、「社員のモチベーションアップのため」(75.8%)が最も多く、次いで「人材確保のため」(43.2%)の順となった。前回調査(H29/4-6月)と同様の傾向であり、「業績改善見込み」が減り「業績改善している」がやや増えている。なお、企業規模別で大きな差はみられなかった。

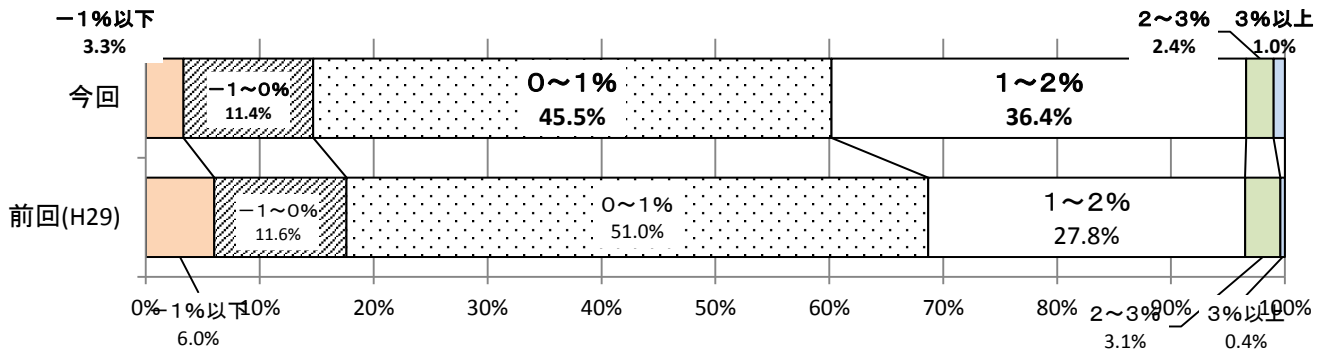
(3) 賃上げを実施しない理由について(複数回答)



○賃上げを実施しない理由については、「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」(61.1%)が最も多く、次いで「業績の先行き改善が見込めないため」(38.9%)の順となった。

2. 今後の景気の予想について

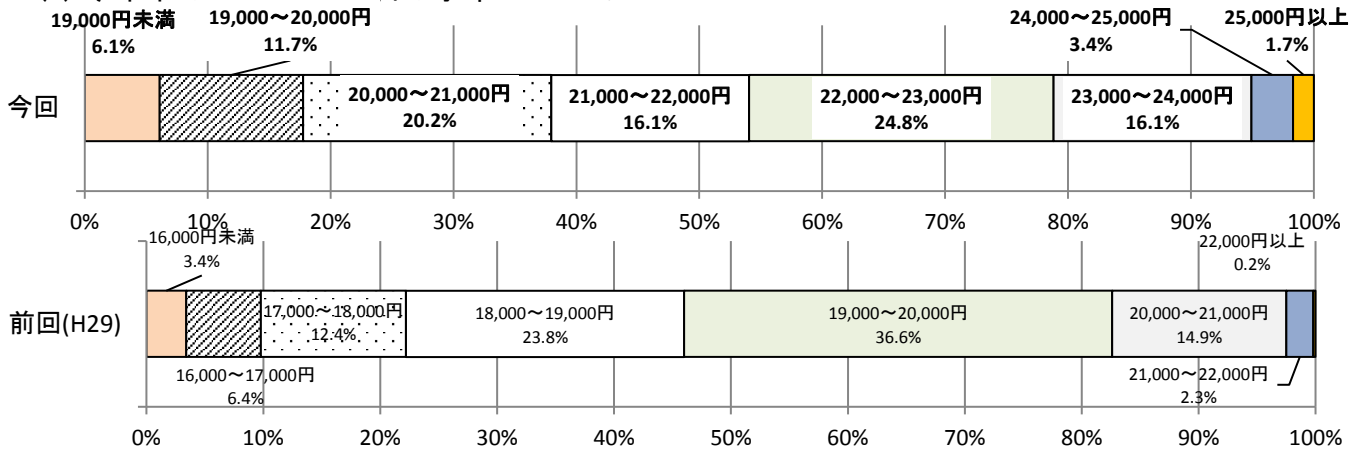
(1) 2018年度の日本の実質成長率について



○2018年度の日本の実質成長率について聞いたところ、「0~1%」(45.5%)が最も多く、次いで「1~2%」(36.4%)となった。前回調査(H29/4-6月)より「1~2%」の回答割合が増え「2%以上」では横ばい。今回調査の平均は0.8%程度と、日銀予測等より弱気の予想。

(参考) 1-3月期実質成長率(内閣府GDP 1次速報)は、前回(H29. 5. 18)0.5%、今回(H30. 5. 16)▲0.2%。2018年の日銀予測は1.4%、民間予測は1.2~1.5%が多数。

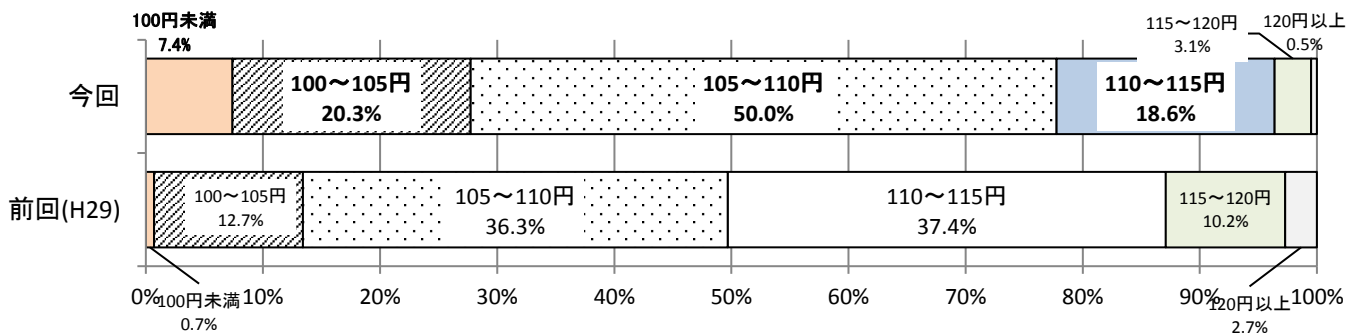
(2) 今年末の日経平均株価の水準について



○今年末の日経平均株価の水準について聞いたところ、「22,000円~23,000円未満」(24.8%)が最も多く、次いで「20,000円~21,000円未満」(20.2%)となった。前回調査(H29/4-6月)より高い水準。今回調査の平均は21,800円程度と、現状株価に比べやや弱気の予想。

(参考) 調査開始時の日経平均株価(終値)は、前回(H29. 5. 15)19,869.85円→今回(H30. 5. 14)22,865.86円。

(3) 今年末の円相場の水準について

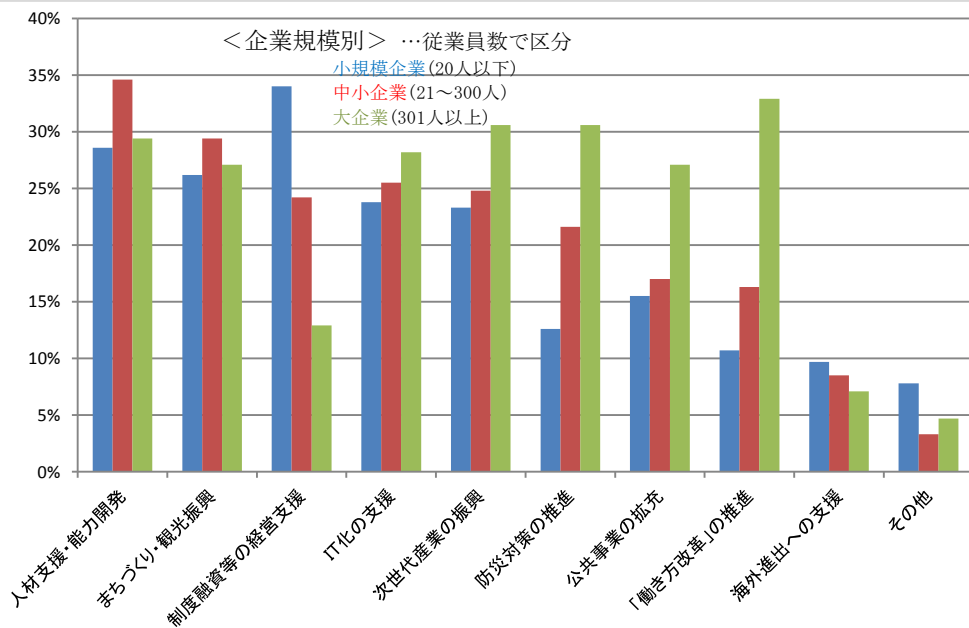
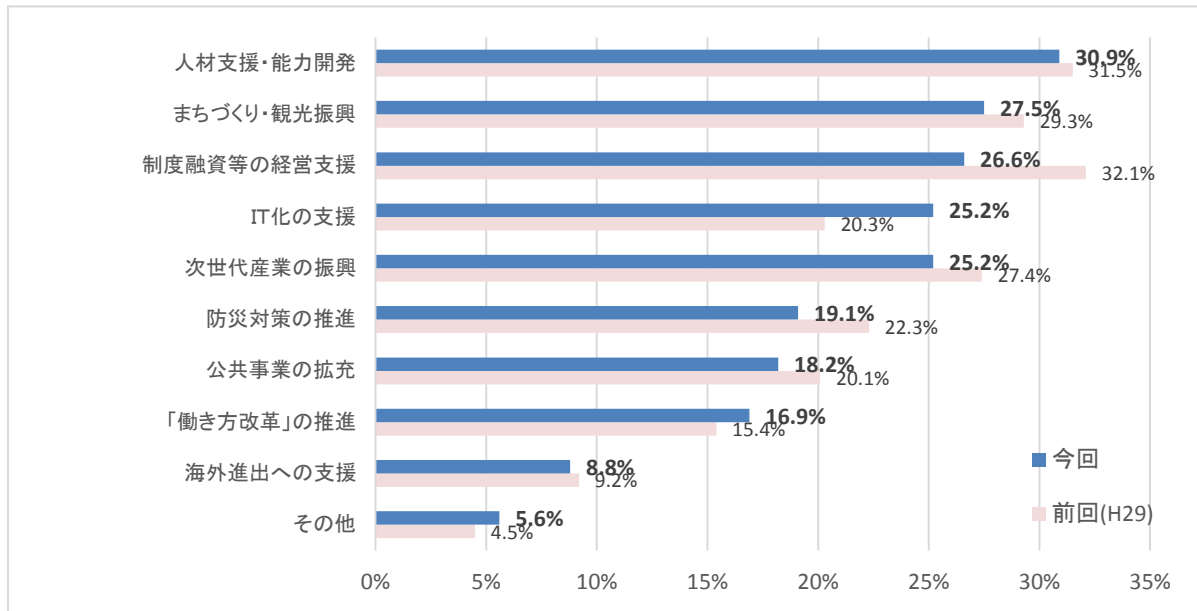


○今年末の円相場の水準について聞いたところ、「105円以上115円未満」(50.0%)が最も多く、次いで「100円以上105円未満」(20.3%)となった。今回調査の平均は107円/\$程度と、現行相場よりやや円高の予想。

(参考) 調査開始時の為替(終値)は、前回(H29. 5. 15)113.77円/\$→今回(H30. 5. 14)109.65円/\$

3. 県・市への要望について

(1) 県・市に対して注力して欲しい施策について(複数回答)



○県・市に対して注力して欲しい施策について聞いたところ、「人材支援・能力開発」(30.9%)が最も多く、次いで「まちづくり・観光振興」(27.5%)、「制度融資等の経営支援」(26.6%)、「IT化の支援」(25.2%)「次世代産業の振興」(25.2%)の順となった。

○企業規模別では、要望する施策の上位3件は次のとおりであった。

- 大企業：①「働き方改革」の推進 ②次世代産業の振興 ③防災対策の推進
- 中小企業：①人材支援・能力開発 ②まちづくり・観光振興 ③IT化の支援
- 小規模企業：①制度融資等の経営支援 ②人材支援・能力開発 ③まちづくり・観光振興

○その他要望する施策の主な回答は次のとおり(自由記述)

- ・高齢化・少子化社会への対応(消費が少なくなる社会でものづくりの技術維持と企業経営をどうするか)
- ・子育て関連支援(次世代人材の教育、保育)
- ・女性活躍施策の推進
- ・名古屋・愛知県のイメージアップ(建築物外観の統一、アンテナショップの充実など)
- ・入札制度改革(低価格偏重の改善、環境配慮の重視など)
- ・展示場の機能充実(空港島展示場の渋滞回避、ポートメッセの展示面積を拡張)

【調査概要】

◎目的

会員企業の景況を早期かつ的確に把握するために、会員企業を対象に「定期景況調査」を四半期毎に年4回(6月、9月、12月、3月)実施する。第25回目の調査概要は下記のとおり。

◎調査時期 平成30年5月14日～6月1日

◎方法 Webを使ったアンケート調査、HP、メール等で依頼・回収

◎対象 会員事業所

◎回答状況 回答企業 444社

◎回答企業の内訳

【業種】

| | | |
|-------|------|-------|
| 製造業 | 130社 | 29.3% |
| 建設業 | 44社 | 9.9% |
| 卸売業 | 59社 | 13.3% |
| 小売業 | 26社 | 5.9% |
| サービス業 | 124社 | 27.9% |
| その他 | 61社 | 13.7% |

【規模】

| | | |
|--------------|------|-------|
| ～20人 | 206社 | 46.4% |
| 21～50人 | 70社 | 15.8% |
| 51～100人 | 47社 | 10.6% |
| 101～300人 | 36社 | 8.1% |
| 301～500人 | 18社 | 4.1% |
| 501～1,000人 | 19社 | 4.3% |
| 1,001～3,000人 | 28社 | 6.3% |
| 3,001人以上 | 20社 | 4.5% |

※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。